

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

京王バス小金井株式会社においては、輸送の安全を確保するために、以下のとおり全社員が一丸となって取り組んでおります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 代表取締役は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (2) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善 (Plan Do Check Act) を確実に実施し、安全対策を不断に見直すこと、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 事故統計 (2010 年度 自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故)

人身事故	0 件
車内事故	0 件
車両故障	2 件

3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

(1) 2010 年度目標の達成状況

「有責事故件数を対前年度比で 10% 以上削減する。」

「有責人身事故件数を対前年度比で 10% 以上削減する。」

有責事故件数、有責人身事故件数ともに 2009 年度比で 10% 以上削減するとの目標を設定し、全社を挙げて様々な事故防止活動に取り組んだ結果、有責事故件数については対前年度比で 25.0% 減、また有責人身事故はゼロとなり、いずれも目標を達成することができました。

また京王電鉄バスグループ全体としては、有責事故件数については 29.2%、有責人身事故についても 27.9% となりいずれも目標を達成することができました。

「輸送の安全に関する費用の支出及び投資を行う。」

輸送の安全に関する費用の支出及び投資として、バス停案内放送自動化装置の導入推進、自動車事故対策機構 (NASVA) の各種講習や飲酒運転防止のため

の研修等への参加のほか、車内確認用の補助ミラーの設置、健康管理ハンドブックの更新などを行ないました。尚、京王電鉄バスグループ全体での輸送の安全に関する費用の支出及び投資額は約51百万円となりました。

(2) 2011 年度目標

「有責人身事故ゼロの継続。」

「輸送の安全に関する費用の支出及び投資を行う。」

- ・路線バス新車へのドライブレコーダー、デジタルタコグラフ取り付け（京王電鉄バスグループ全体で6百万円）
- ・左折チャイム・コーナーリングランプ・バックアイカメラ導入推進等（京王電鉄バスグループ全体で15百万円）
- ・安全運転中央研修所での研修、自動車事故対策機構（NASVA）の各種講習、飲酒運転防止のための研修等への参加（京王電鉄バスグループで13百万円）

以 上